

アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム

汗かくメディア2015

| 受賞作品公開展示 |

2015.9.12 | 土 | - 9.27 | 日 |

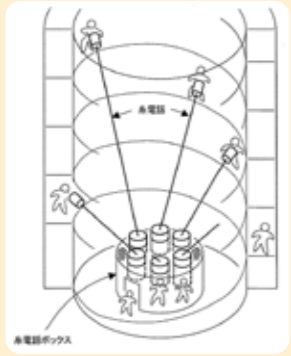
9.14月、9.24木の公開はお休みです。
公開時間：10:00-16:00(開館時間は9:00-17:00)



ぶりゅっくん あしふる

参加者は2人1組でセンサが搭載されたリュックを背負います。背中合わせになって、お互いのセンサが反応し合い、リュックが「ぶるぶる」とふるえる距離を維持しながら、室内を動きまわります。普段はあまり意識することの無い「背中」を使ったコミュニケーションをとって、人と人・人と空間・人とモノとの関係を再構成するあそびを提案します。

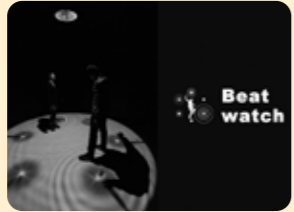
あしふる：
情報科学芸術大学院大学 (IAMAS) 在学中の4人によるユニット。
蛭澤法子、大澤 信、竹内 環、玉田雄一



コエイロシャワー 舞鶴あそび隊

チャレンジタワーの中に「糸電話」をはりめぐらせ、1番下のフロアの中心に声を集めます。色々な長さの円筒に頭を入れて耳をすませると、声がシャワーのように降り注ぎます。メディアとしての「声(こえ)」と、「円(まる)」をイメージし、身近にあるモノやコトでシンプルに、人と人とのつながりを大切に遊びます。

舞鶴あそび隊：
京都府舞鶴市で年齢や職業をこえて集まった、遊びたい人たちの集まりです。舞鶴市子育て交流施設を中心に、大人から子どもまで、だれでも思わずドキドキわくわくしまあそびをつくりだしています。



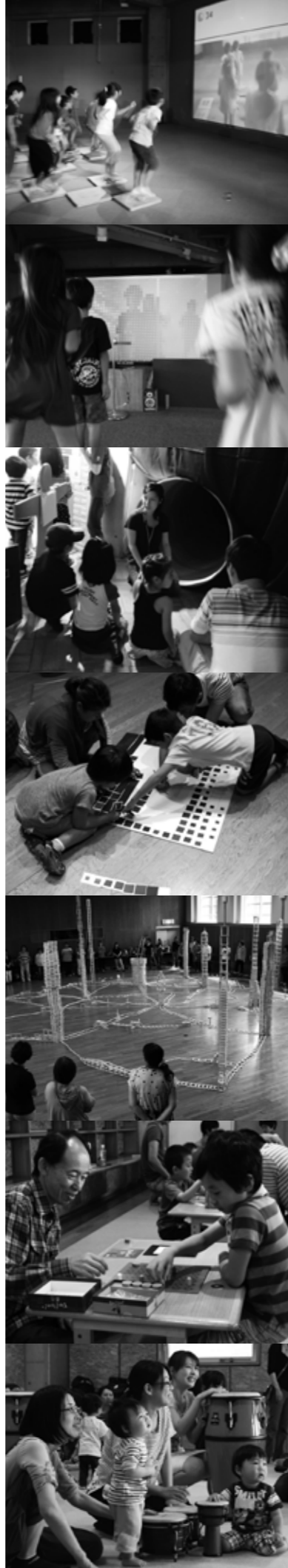
Beat watch 横俣 祐司

「ダンス」は音を聞いて、自分の感じた感覚を体で表現します。この作品はその法則を反転し、動けば動くほど、曲のリズム(楽器)が増えていく空間作品です。水槽と6つのスピーカーによって、リズムや音を視覚的に表します。人の動きとともに躍動感を感じさせ、音楽とともに体を踊らせることが楽しいと感じられます。動くこと、踊ることで様々な音の可能性を楽しんでください。

作品動画
<https://www.youtube.com/watch?v=UYTSVY1m0s>

よこはぎ ゆうじ：
1993年広島生まれ。千葉県在住。2015年広島市立大学芸術学部デザイン工芸学科立体造形分野卒。音をビジュアル化する表現と、ライフワークであるダンスを元に作品を制作。2014年には毎年冬に広島に行われる、ひろしまドリーミネーション2014「peace loop」のデザインをコンセプトからてがるなど空間デザインにも取り組む。

○詳しくは、館内の当日案内をご覧ください。プログラムは予告なく変更することがあります。



アートと遊びと子どもをつなぐ
メディアプログラム

汗かくメディア2015

| 受賞作品公開展示 |

2015.9.12 | 土 | - 9.27 | 日 |

9.14月、9.24木の
公開はお休みです。

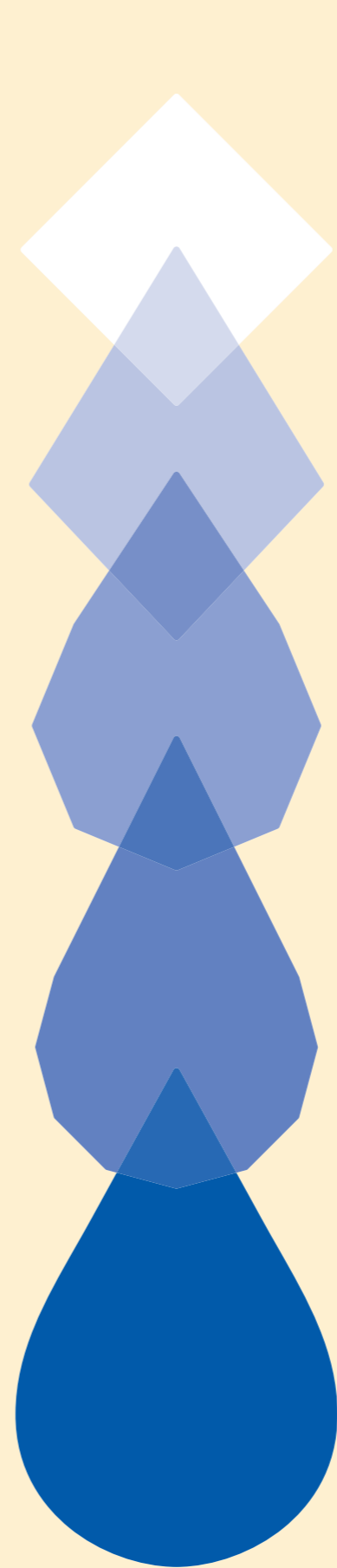
愛知県児童総合センター (愛・地球博記念公園内)

公開時間：10:00-16:00(開館時間は9:00-17:00)

入場料：中学生以下無料、その他300円

主催：愛知県児童総合センター
(公益財団法人 愛知公園協会)

愛知県児童総合センターでは、子どもたちの健全な育成を支援する「遊び」に「アート」を取り入れることで、新鮮な気づきを生む遊びの開発に取り組んできました。遊びの中で子どもたちは、緩やかなルールのもと、自由に自分を表現し、認められ、受け入れられる体験をすることや、他者との間で自分自身を確かめることを経験し、自分の感性に自信を深め、自分自身の確かな存在を持つ基盤をつくっていきます。子どもたちの成長にとって重要な要素である「遊び」に「アート」が加わることで、新しい視点や表現を提示し、子どもたちを日常の縛りから解放し、さまざまな気づきや驚きが生まれるような体験をもたらしてくれると考えています。遊びの開発の一環として開館当初からおこなってきた遊びの公募事業では、これまでに多種多様なメディアを介した遊びが提案され、子どもたちが自由に考え工夫し、柔軟に発展していく、文字通り汗をかきながら遊ぶことのできる新しい遊びを実現してきました。今年も3つの作品を「汗かくメディア賞」として選出しました。どんな遊びが実現したのか実際に体験しにきてください！



子どもとおとな、ドキドキ発見！

ACC

Aichi Children's Center

レター

News Letter vol.

2015 秋 21

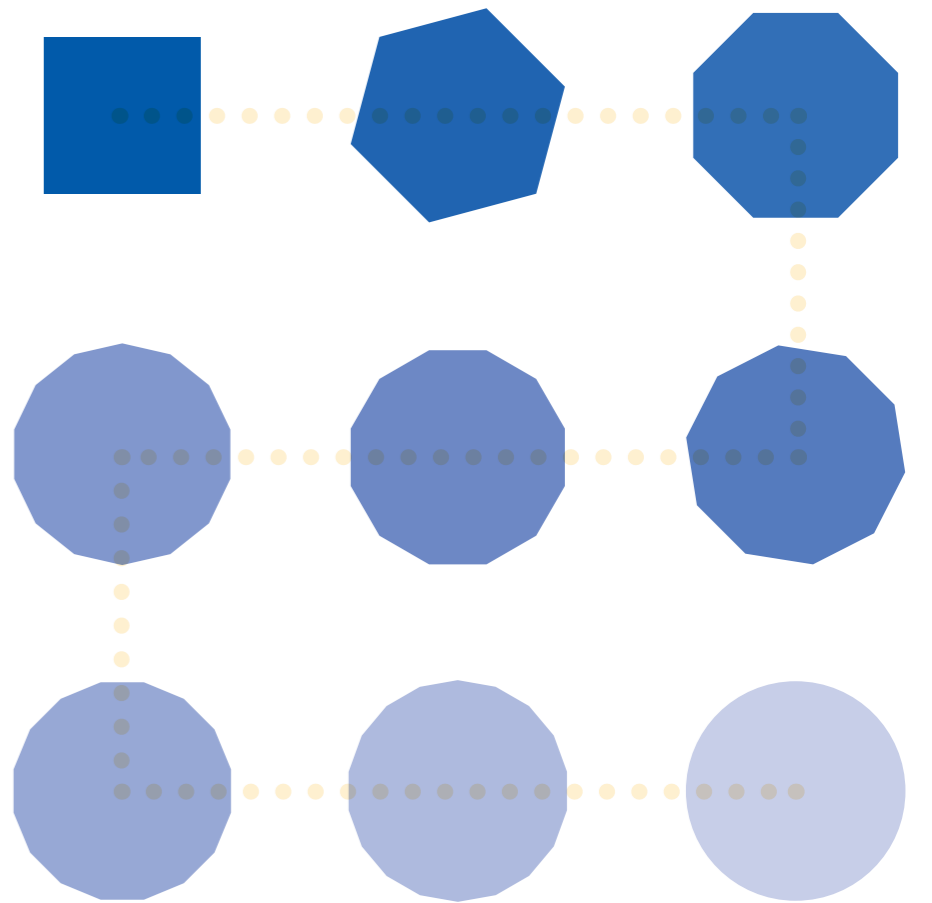
アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム

汗かくメディア2015
| 受賞作品公開展示 |

イクメン応援キャラバン隊2015
「お父さん」を楽しもう！

ACCのあそび：5つのこだわり

子育てのおはなし 第21話
募集とお知らせ



愛知県児童総合センター



〒480-1342
愛知県長久手市茨ヶ畑間乙1533-1
TEL 0561-63-1110
E-mail info@acc-aichi.org
<http://www.acc-aichi.org/>

開館時間＝9:00-17:00
入場料＝中学生以下無料、その他300円

9月の休館日＝7日
10月の休館日＝なし
11月の休館日＝9、16、24、30日
12月の休館日＝7、14、21、29、30、31日

公共交通 地下鉄東山線「藤が丘」、愛知環状鉄道「八草」から 車で… 東名高速・日進JCT経由名古屋瀬戸道路長久手ICから
機関で… リニモ「愛・地球博記念公園」駅下車 足助方面すぐ(愛・地球博記念公園 北駐車場利用)



イクメン応援キャラバン隊 2015
「お父さん」を楽しもう!

今年度、新たに始動した「イクメン応援キャラバン隊」には、大きく分けてふたつの活動があります。ひとつめは、愛知県内の児童館20か所を巡るキャラバン隊。そしてもうひとつが、愛知県児童総合センター、海南こどもの国、愛知こどもの国の3会場で開催されるちよびり規模の大きな子育てトークとあそびのプログラムです。

愛知県児童総合センター会場では、育児世代のお父さんを支援するため様々な活動をしているファザリング・ジャパン東海のメンバーによるトークを行います。トークといってもお話を聞くだけでなく、絵本の読み聞かせなどを交えた楽しいお話です。そしてあそびのプログラムは日本屈指のウクレレプレイヤーである勝 誠二さんをお迎えします。「指1本で楽しむウクレレワークショップ」として、NHK みんなのうた「南の島のココナッツ」を、ウクレレで弾きながらみんなで歌います。最後には勝さんのミニライブで盛り上がりまします。

海南こどもの国会場でもファザリング・ジャパン東海のメンバーをお迎えします。屋外での楽しい絵本ライブの後、愛知県児童総合センターのスタッフとともに屋外公園をめいっぱい使ったクイズ・プログラムを行います。さまざまなナゾにチャレンジして、お父さんと一緒にミッションをクリアするあそびのプログラムです。

最後を飾るのは、愛知こどもの国会場です。絵本作家・メディアアーティストの岩井俊雄さんをお迎えして、「100かいたでるいえ」の創作秘話や、子どもと一緒に考える遊びや手づくりおもちゃの楽しさについてお話いただきます。その後、大人気の絵本「100かいたでるいえ」をみんなで力を合わせてつくります。全員の想像力をつないで世界にひとつだけの家をつくりましょう。

3会場とも、お父さんと子どもと一緒に夢中になれるプログラムを用意しています。子どもが楽しいのはもちろんのこと、お父さん自身も思いきり楽しんでください。

※開催日時等、詳細は愛知県児童総合センターホームページをごらんください。

県内の児童館20か所でもはじまっています!

「イクメン応援キャラバン隊」は、様々なプログラムを愛知県内の各児童館にお届けしています。料理、音楽、積み木、ボードゲーム、プログラミング・・・どのプログラムも、お父さん同士が交流できるよう、ひと工夫したもののばかりです。さらに、各児童館の職員に向けても、「お父さんのチカラを児童館へ」と題した研修会を行っています。どうしたら地域のお父さん同士をつなげ、その拠点として児童館を活用してもらえるようになるのか児童館の職員とともに案を出し合い、考えていきます。

すでにキャラバン隊のプログラムに参加されたお父さんも、まだこれからというお父さんも、仕事以外の場所で新しい仲間をつくり、地域で活躍する「お父さんネットワーク」にぜひご参加ください。



ドラムサークルであそび つんでつろう!紙コップランド つみきであそび プログラミングであそび



ウクレレプレイヤー 勝 誠二さん



ファザリングジャパン 東海メンバー



メディアアーティスト 岩井 俊雄さん

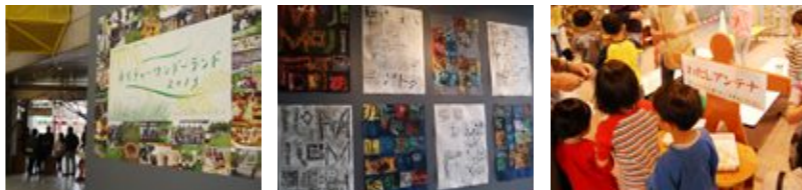
ACCのあそび：5つのこだわり

愛知県児童総合センターでは、子どもたちの成長の糧となり、親子のより良い関係づくりをサポートする「あそび」を開発、実施するにあたって「5つのこだわり」を持って取り組んでいます。

1 「あたりまえ」が面白い

「?と!」のきっかけは身近なところに

年に3回行っているあそびの特別企画では、必ず身近なことから見つけたテーマを設けています。テーマにもとづいた様々なあそびに参加することで、いつも「あたりまえ」と思っていたことに対する視点がかわり、身近なものの中に新しい発見や驚きを見つけるきっかけが生まれます。



「自然」「文字」「自分」など身近なことをテーマに。



2 残らないあそび

脱・おみやげづくり

何かを「形づくる」ことを目的にしません。子どもでも大人でも、上手・下手、器用・不器用を超えた、その人なりの遊び方が生まれ、「ああ、おもしろかった」と思えることが理想です。持って帰るためではなく、体験し、その過程を楽しむことを目的にした「砂場のあそび」のようなあそびを目指しています。



あそびに参加した人がつくったものを集まさせて、魅力的なあそびの空間ができています。

3 ムダこそあそび

ムダは大事だ!

役に立たないことやムダに思えること、意味がないものの中にこそ大事なことやおもしろさが潜んでいて、それがあそびの出発点にもなります。効率や成果を重視するのではなく、遠回りしてもその人が自分で気づいたり考えたり、価値を見いだすことを大切にします。



穴をほったり、みがいり、盛るだけ。それだけの中に数えきれない発見と驚きと楽しさがあります。

4 「不自由さ」がたのしい

「不自由さ」は「自由」への入り口

「さあ、自由にあそんでいいよ!」と言われても、どうしよう?いつものあそびをする?と自分が考える「ワク」の中でしか遊べません。あえて緩やかなルールを設けることで、新たな視点や発想が生まれ、結果的にルールや「ワク」を超える力強い想像力や造形が出現していきます。



決まったもの以外描かない、具体的なカタチをつくらない、読めたらいけない、簡単なルールが壮大なあそびの結果を生みます。

5 大人が楽しいと子どもはうれしい

「子ども向け」を基準にしない

愛知県児童総合センターでもっとも大切にしている言葉です。発達段階に応じた配慮は必要ですが、子どもから大人までそれぞれの年齢なりに取り組んでいくことができる「上質」で「本物」のあそびが必要だと考えています。本気になることや本物に出会う楽しさは子どもにも大人にも共通で、対等の立場をもたらしてくれます。大人が新しい価値観に出会うことで、子どもとの関係もより良く変化していきます。



大人が本気になって子どもと一緒に楽しむ時間を大切にします。

子育てのおはなし

臨床心理士 後藤 かをり

第21話

マイナスの感情もたいせつに

私たちは、「うれしい」や「たのしい」など、プラスの感情は表しやすしい、また人が表した時にも受け入れて、一緒に喜びあい、ハッピーな気持ちを分かち合えるものです。

けれど、怒りや苦しみ、悔しい気持ちや嫉妬など、いわばマイナスの感情は、表現することが難しいと感じませんか? 私自身、自分のマイナスの感情を、あますことなく、でも人にわかってもらえるように落ち着いて話すことに困難を感じるがよくあります。

小さい子どもたちはなおさら。身体の中にあふれてくる、強いどうすることもできない感情は、泣き叫ぶことや震え、カッと熱くなることや地団太などで表現するしかありません。そんな表現に出会った時、ぜひ「怒

れるね」「くやしいね」「腹が立つね」など、その感情を言葉で表し、名前を付けてあげてください。

そうすることで、子どもたちは自分の中の荒々しいエネルギーを言葉で表し、周りの人と分かち合えるようになります。お母さんや周りの大切な人にマイナスの感情を共感され、しかもその人の落ち着いた様子から「大丈夫」というメッセージを受け取ることで、子どもは、心の中にマイナスの感情も持つても大丈夫、表現しても大丈夫と思うようになっていきます。

怒りなどのマイナスの感情も、大切な私の感情。押し込めることなく上手に表現したいと思います。

募集とお知らせ

「トコトコプログラム」

「大人がたのしいと子どもはうれしい」を合言葉に、小さな子どもとお母さんやお父さんが「一緒に」楽しむプログラムです。見る、触るなどの感覚的なあそびを中心に、いろいろなあそびを親子で体験します。

- 9/2(水) 水であそび
- 9/9(水) ウゴイテあそび
- 9/16(水) ヘンシンであそび
- 9/30(水) えのぐであそび
- 10/7(水) 音であそび
- 10/14(水) 土であそび
- 10/21(水) 秋みつける・あそび
- 10/28(水) おばけであそび

時間：14:30~15:00
対象：1歳から3歳の未就園の子どもとその親
定員：15組程度
参加費：無料(入場料300円が必要)
受付：プログラム開始30分前から
1Fインフォメーションにて先着順

「移動児童館・ゆめたま号」 9月~10月の開催地決定

児童総合センターのあそびを「ゆめたま号」に乗せて児童館へ運び、現地のスタッフも加わって地域の子どもと大人が一緒になって遊ぶプログラムです。あそびをとおして、たくさんのお会いを楽しみにしています。

- 開催地：
- 9/10(木) 小牧市 西部児童館
 - 9/26(土) 半田市 青山児童センター・花・はな
 - 10/8(木) 一宮市 向山児童館
 - 10/14(水) 岩倉市 第三児童館
 - 10/23(金) あま市 七宝つどいの広場
 - 10/27(火) 豊川市 ゆうあいの里ふれあいセンター



ゆめたま号

あのねっと LINE@

@acc-aichi



「あのねっとのへや(子育てひろば)」に関する様々な情報をLINEでお知らせしています。「あのねっとクラブ」や親子であそび「トコトコプログラム」など、子育て支援に関するプログラムの情報をいち早くお知らせします。

※プログラムは予告なく変更する場合があります。詳しくはHPをご覧ください。



トコトコプログラム「ウゴイテあそび」



トコトコプログラム「土であそび」



移動児童館「かみであそび」



移動児童館「ビックスボックス」